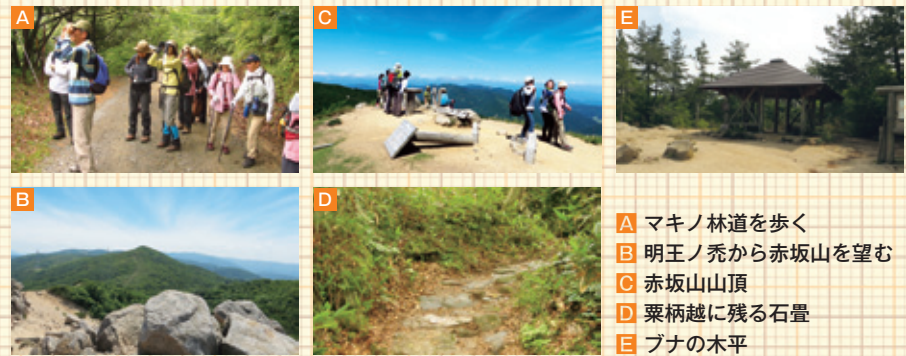


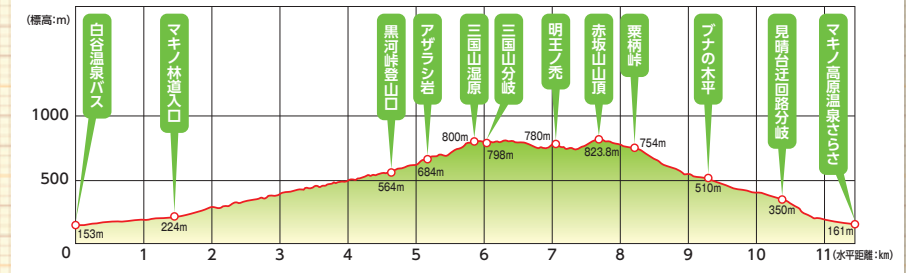
# あかさかやま たかしま 赤坂山 (高島トレイル)



## コースのポイント



- A マキノ林道を歩く
- B 明王ノ禿から赤坂山を望む
- C 赤坂山山頂
- D 栗柄越に残る石量
- E ブナの木平



## 四季を通じて楽しめる眺望と花の山

関西では多くの種類の花が見られる山として有名な赤坂山。

春は最も花の種類が多く、ゴールデンウィークには、そのピークを迎えます。山に登る人も多くなりますが、登山道沿いには、ピンク色のカタクリ、トクワカソウ、黄色のオオバキスミレが一面に咲く風景はまさに花の山です。その後も、サラサドウダン、キンコウカ、オオコメツツジ、イワショウブなど、

たくさんの花を晩秋まで見ることが出来ます。また、高島トレイルの一部でもあり、中央分水嶺の山頂からは日本海と琵琶湖の両方を望むことができます。

北東方向には乗鞍岳、南西方向には、寒風、大谷山の高島トレイルの山々が続きます。

途中のブナの森や随所で見られる風景は素晴らしく、冬の季節風がもたらす雪の時期も多くの登山者で賑わいます。

### 赤坂山の概要

滋賀県と福井県との県境にあり、日本海側の多雪地帯でもあることから、多様な植物を見ることができ、一帯は琵琶湖国定公園に指定されています。古代から若狭と近江をつなぎ、物資の行き来に使われていた栗柄越の古道が登山道となっています。途中には石量も残っており往時を偲ぶことができます。

標高は823.8mであり、それ程高い山ではありませんが、花崗岩の大崩壊地「明王ノ禿」があり、赤坂山一帯が隆起準平原であることから、周りを広く見渡せ、眺望は格別です。

■標高／823.8m ■標高差／671.8m  
■地図／国土地理院 海津、駄口

コースのバラエティ

赤坂山に登るコースには、いくつかのコースがあります。季節や時間、体力などに応じて選んでいただければ、いくつもの楽しみ方ができるので挑戦してみたいかでしょうか。

①白谷から黒河峠を経由して、赤坂山、マキノ高原に下山するコース

■行程 11.5km 5時間

サラサドウダン、キンコウカなど赤坂山の花々が最も多く見られます。白谷温泉バス停で下車し、在原方面へ向かいます。県道から分岐点をマキノ林道に入ると、黒河峠までは花を見ながら広い林道を快適に歩くことができます。黒河峠にはトイレが整備されています。黒河峠から登山道に入りますが、ここから湿原があるなど、さらに多くの花に出会うことができます。途中に三国山への分岐、明王ノ禿があります。明王ノ禿から少し急な坂を登りきると赤坂山山頂です。

②マキノ高原から赤坂山を往復するコース

■行程 8.5km 4時間

マキノ高原から登る最もポピュラーなコース。マキノ高原の登山口から登り、栗柄越の石畳、ブナ林、赤坂山からの眺望、花などが楽しめます。高原温泉さらさの裏から登山道の途中まで迂回路があります。

④マキノ高原から栗柄越、オモテ、分水嶺を経て、寒風からマキノ高原へ下山するコース

■行程 10km 4.5時間

高島トレイルの一部で中央分水嶺を歩いていることが実感できます。栗柄峠から赤坂山とは反対に南へ向かいます。赤坂山から南下するオモテ付近は草原が続く、前方のトレイルを見渡す景観が素晴らしく、途中からは琵琶湖と日本海を左右に見ながら歩くことができます。

地元のおすすめ

マキノ高原温泉 さらさ

■泉質 / アルカリ性単純泉  
レストラン、ジャグジー等もあります。牧野地域には、民宿村があり、宿泊に便利です。



■定休日 / 第2、4水曜日  
■所在地 / 高島市マキノ町牧野931-3  
■電話 / 0740-27-8126

マキノ白谷温泉 八王子荘

■泉質 / 天然ラドン温泉  
宿泊・宴会ができます。日帰り入浴もできます。露天風呂もおすすです。

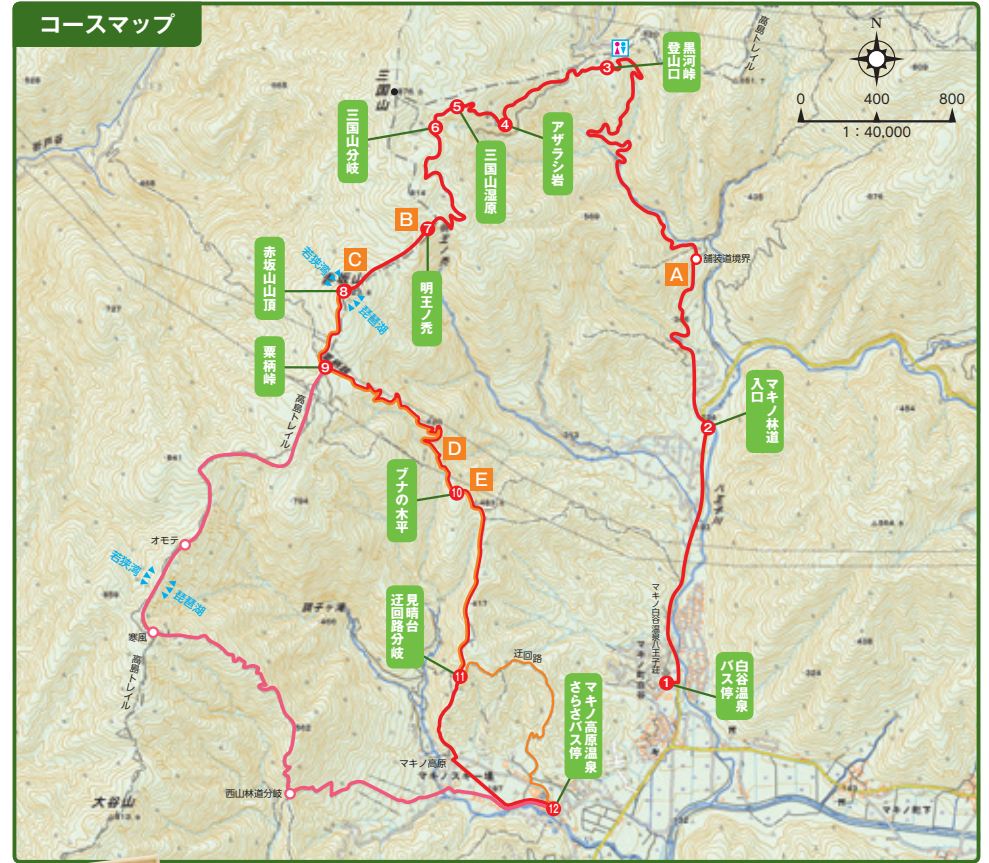


■定休日 / 毎週木曜日  
■所在地 / 高島市マキノ町白谷370-1  
■電話 / 0740-27-0085

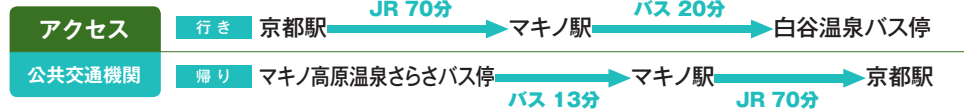
コラム

花ごよみ	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
カタクリ								
トクワカソウ								
オオバクスマシ								
サラサドウダン								
キンコウカ								
オオコメツツジ								
ツリフネソウ								
センブリ								

コースマップ



コースタイム



**お問合せ**  
マキノ駅観光案内所 TEL 0740-28-1188(月曜日定休)  
高島トレイルクラブ TEL 0740-22-6959(平日10:00~17:00)